

介護変革！
事業者の挑戦

国の方針変更いち早く対応した リハビリ特化型デイサービスを展開

イー・ライフ・グループ株式会社（東京都豊島区）

介護保険制度の方針変更いち早く対応し、1日型リハビリ型
イサービスnagomiプラスを展開するイー・ライフ・グループ
株式会社。生活リハビリに特化したnagomiプラスが生活必
需サービスとして中重度の利用者に受け入れられ始めている。

介護保険制度の方針変更 いち早く対応

1999年創業のイー・ライフ・グループ株式会社（小川義行社長）は現在、「ご利用者の健康維持・改善を通じて、かかわる人々の幸福を増進する」ことを事業目的として、半日型リハビリ型イサービスnagomi、1日型リハビリ型イサービスnagomiプラス、リハビリ訪問入浴nagomiの3つの事業を展開している。東京を中心に直営店を出店し、地方についてはフランチャイズ方式で加盟店の経営支援を行っている。

半日型nagomiは要介護度の低い高齢者、nagomiプラス

スは中・重度の高齢者、訪問入浴nagomiは重度の高齢者を対象にサービスを提供している。nagomiのサービスの特徴は、リハビリにフォーカスしている点。半日型nagomi、nagomiプラスもレクリエーションは行わず、リハビリに特化している。訪問入浴nagomiも、入浴後の体が温まった状態で可動域活性化などのリハビリを行う。

同社がnagomiプラスの1号店をオープンさせたのは2017年9月。その前年の11月に、安倍晋三首相（当時）が未来投資会議で、「これまでのお世話をする介護から、自立を支援する介護に軸足を移していく」旨の発

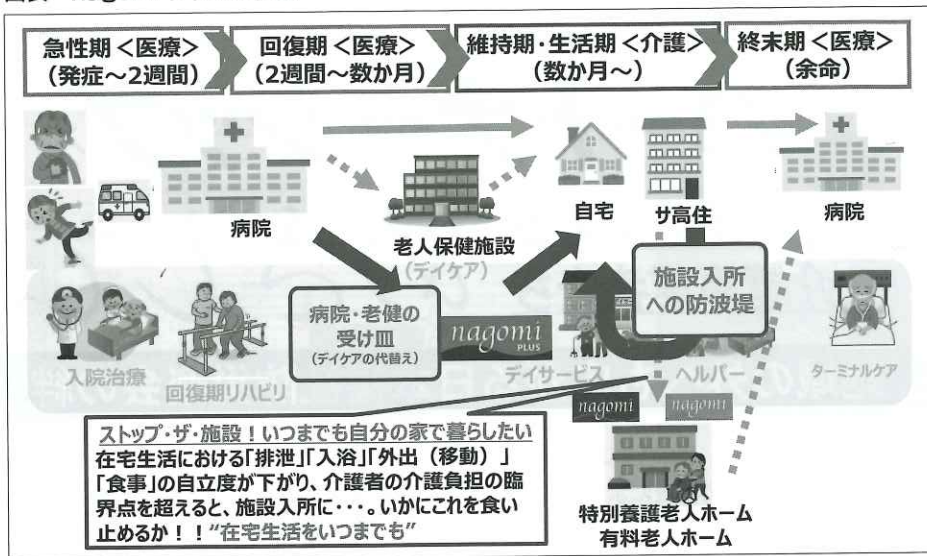
言をしている。要介護度の中・重度者対応へのシフト、自立支援介護の重視という介護保険制度の流れにいち早く対応してのことだ。

ニーズをしっかりと捉えた リハビリ特化の1日型デイ

nagomiプラスは、自立支援介護とレスパイトケアを融合させた、機能訓練を中心とした1日型デイサービス。「在宅生活をいつまでも」をテーマに、自立支援介護の4つの基本ケア（水分ケア、栄養改善、自然排泄、運動・機能訓練）を軸とした「移動（歩行）」、「入浴」、「トイレ」、「食事」の自立をめざす生活実践リハビリを提供している。リハビリストレッチ

や口腔リハビリ、脳活性化トレーニングなどの集団リハビリ、症状別リハビリ、食事・入浴・トイレ・食事の行為動作ごとの生活課題別リハビリといったグループ別リハビリの合間に、生活行為の実践訓練などの個別実践リハビリがある。個別実践リハビリについては、本人や家族から在宅生活において具体的にどこが不安か、負担になっているかをヒヤリングをして、たとえば入浴であれば、着替えのところがいいのか、洗いのところなのか、浴槽に入る・立ち座りなのか、個別具体的に課題となっている生活行為を住環境に模したリハビリルームで反復訓練する。「ご家族のレスパイト需要も考え

図表 nagomi プラスの役割



ると、食事も入浴もでき、生活行
為のリハビリもできるリハビリ特
化の1日型デイサービスは「ある
ようでなかったね」とケアマネ
ジャーからよく言われます。そこ
がnagomiプラスの特徴で
す」と同社執行役員の鈴木貴仁さ



入浴時に浴槽の縁を跨ぐ訓練風景。このように
実際の生活課題に即した実践的な機能訓練を行う

ん。
nagomiプラスの社会的役
割は大きく2つある(図表)。一
つは、病院や介護老人保健施設か
ら在宅へ移ったときの「リハビリ
の受け皿」としての役割。病院へ
入院後、回復期に病院や老健でリ
ハビリを受けても、在宅に戻って
からもリハビリをしっかりと続け
ないとADLが低下してしまう。
半日のリハビリでは足らず、生活
課題への取り組みや家族のレスパ
イトという意味でも、リハビリに
特化した1日型のデイサービスが
求められている。もう一つは「在
宅介護の負担を減らし、在宅生活
を継続させる、言わば「施設入所
への防波堤」の役割です」と鈴木

さんは言う。在宅介護でリハビリ
をしっかりと行い、ADLを維持し
て、家族の負担を減らす。そこ
で、入浴、トイレなど在宅生活の
なかで課題になっている動作の維
持・改善をめざすリハビリを行い、
自立度を高め、家族の介護負担を
減らすことで、自分の家で暮ら
したい」という本人・家族の願い
をかなえる手伝いができる。

nagomiプラスは 生活必需サービス

新型コロナ禍は、デイサービス
運営に大きな影響を与えた。しか
し、nagomiプラスに関して
言えば、その影響は軽微だったと
いう。緊急事態宣言下の2020
年4・5月は10%ほど稼働率が落
ちたが、6月には回復し、現在で
は稼働率は元に戻っている。新型
コロナ禍の影響が小さかった理由
について、「nagomiプラス
はご利用者やご家族にとって、生
活必需サービスとなっているから
でしょう」と鈴木さん。要介護高
齢者の病院や老健から在宅への移
動は時を待たず、ADLを低下さ
せないためのリハビリニーズは常

に存在する。求められている生活
リハビリとしての機能訓練の需要
に、nagomiプラスはしっか
りと応えたサービスを提供してい
るとのことだ。

2020年11月にnagomi
プラスの4店目「nagomiプ
ラス大森」がオープンした。

「東京など半日型nagomiの
ある所にnagomiプラスを出
店するドミナント展開を加速した
いと考えています。訪問入浴na
gomiも並行し、地域のなかで
ステージの違う介護・リハビリ
ニーズに応えるサービス提供がで
きる形をつくりたいですね。地方
でもフランチャイズ店にノウハウ
を活かした支援ができる体制を整
えていきます」と、鈴木さんは展
望を語った。

イー・ライフ・グループ株式会社

●東京都豊島区南池袋2-16-4 SKビル3F

TEL 0120-522-858

URL www.ii-life.co.jp

リハビリデイサービス nagomi、生活リハ
ビリ特化型デイサービス nagomi プラス、リ
ハビリ訪問入浴 nagomi を全国で約130店
舗展開するなど、「健康的なシニアライフ
の創造」をテーマとするソーシャルカンパ
ニーをめざしている。

介護ビジョン

ケアのある風景

社会福祉法人
悠々会

第1特集

介護の

「見える化」

何をどのよう
に行うべきかを考える

第2特集

ウィズ・コロナで変わる

外国人材

導入のあり方

介護小説

ルーデル大佐じゃない

阿部敦子

